



中の
川よ
荒だ

青い雲



教育目標

「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「あいさつがまんあとしまつ」ができる生徒

村上市立荒川中学校

令和3年度第5号

令和3年8月30日発行

学校に期待されること

校長

渡辺 安治

夏休み中、九州地方や広島県などでも豪雨による河川の氾濫や土砂災害がありました。失われた尊い命、家屋の倒壊や土砂の流入など甚大な被害に対しまして、心よりお悔やみ申し上げます。昭和四十二年八月二十八日の羽越水害のことを思い出します。一日も早い復興をお祈りいたします。

陰で活動中に体調を大きく崩す生徒はいませんでした。また、事故や怪我もなく、安全で有意義な活動ができました。午後を中心にして体育祭のパネル制作に担当生徒が協力して創意工夫を重ねていました。団長はじめメンバーは、力強く優雅で魅力的な応援となるように動きや振り付けを考えていました。

猛暑でしたが、生徒は夏休みも頑張りました。午前中は部活動前の学習会です。一・二年生で数学が苦手な生徒や三年生で進路に向けて力をつけたい生徒が、学年の教室や支援の教室で意欲的に取り組みました。苦手意識が少しでも解消されたり、理解が深まったりすることは、生徒がより前向きに学習する姿勢につながってきます。新体制となった部活動は体育館、グラウンド、テニスコートや荒川総合体育館・武道場等で、熱中症対策をとりながら行いました。熱中症が心配される高温のときは、各部とも運動の種類や演奏形態の動きによって、少ないときで十分に一回、長くても三十分に一回程度、休憩や水分補給の時間を設けて、体調を崩さないように工夫しました。また、ご家庭にも協力をお願いしました。高温が予想される前には、学校からの連絡メール（オクレンジャー）を保護者の携帯電話に送信し、「朝・昼・夕の食事をしっかりとること、十分な睡眠時間を確保すること、少しでも体調が悪いときは練習を休むこと」をお願いしました。お

夏休みが始まって間もない頃、ある保護者の方から生徒を通じてたくさん野菜をいただきました。収穫されたばかりの新鮮な夏野菜でした。多くの職員でありがたくいただきました。そしてお子さんを思うお家の方の気持ちに改めて気づくことができました。「命や健康と安全を守ること、人間関係を良好にすること、学力をつけること、体力を向上させること」、この他にも、ご家庭から期待されていることは、たくさんあることを職員と確認しました。

夏休み中もご多用の所、元気に学校へ送り出してください、ありがとうございます。二期は、体育祭や青雲祭、そして延期された修学旅行が予定どおり実施できるように努めて参ります。全国的に感染症の状況はよくありません。村上市内では、部活動の交流試合や冠大会への参加が禁止されています。引き続き感染症対策を継続します。地域の方々や保護者の皆様からもご協力をお願いいたします。

